

ソフトウェアマニュアル

EK OMNIA

オールラウンドグラインダー

ソフトウェアの説明、機能及びソフトウェア等の更新方法

目次

改訂履歴	3
ソフトウェアのバージョン履歴	3
用語集	4
1 製品概要	5
2 ログイン	6
3 スタンバイと電源オフ	6
3.1 スタンバイ	6
3.2 電源オフ	6
4 ソフトウェア機能の概要	7
4.1 ナビゲーションとジェスチャー	7
4.2 最初のスタートアップ	8
4.2.1 初回起動時のセットアップ	8
4.2.1 グラインダーチュートリアル	9
4.2.2 PDU チュートリアル	10
4.3 メインページ / クラシックモード	11
4.4 メインページ / タイムモード	12
4.5 メインページ / ライブラリーモード	13
4.6  設定概要	14
4.6.1  サービスメニュー	15
4.6.2  システムメニュー	17
4.6.3  カスタマイズメニュー	18
4.6.4  ユーザー管理メニュー	19
4.6.5  情報メニュー	20
5 ソフトウェア更新の準備	21
5.1 ソフトウェア (SW) バージョンの確認	21
5.2 ソフトウェア更新に必要なこと	21
5.3 グラインダーの準備	21
5.4 EK OmniaをWiFiに接続する	22
5.5 EK OmniaのWebインターフェースにアクセスする	23
6. ソフトウェアアップデートを実行する	24
7 カスタムスプラッシュスクリーンをアップロード	27
8 エラーと通知	28
8.1 最も一般的な通知	28
8.2 エラー一覧	29

改訂履歴

日付：	修正内容	改訂番号
2023年11月3日	改訂履歴一覧作成日	1.0
2023年12月1日	進捗バーの問題はメモに記載されています。	1.1
2024年1月25日	暫定的に最終決定 – SW SAP番号は保留中	1.2
2024年2月2日	最新リリースに更新	1.3
2024年3月4日	最新リリースに更新	1.4
2024年3月7日	最も一般的な通知を追加(8.1を参照)	1.5
2024年5月8日	バージョン1.20にアップデートしました (ソフトウェア バージョン履歴を参照)。RPM調整の説明がモードに追加されました。	1.6
2025年11月4日	透かしが削除されました。	1.7

ソフトウェアのバージョン履歴

このマニュアルは、下記に記載されている最新バージョンのソフトウェアにのみ有効です。

日付：	修正内容	SW &ビルド 番号	SW HMI	SW ESP	FW MCU
2023年12月1日	第1量産向け第2リリース	1.04-5	1.06	1.10	S27
2024年2月2日	第1量産向け第3リリース	1.14-1	1.06	1.11	S30
2024年3月4日	第4リリース	1.16-4	1.10	1.11	S30
2024年5月8日	第5リリース	1.20-1	1.20	1.14	S30

用語

学期	説明
AGSA	AGSA (Automatic Grind Size Adjustment) = 自動挽き目調整機能 保存されたDDに基づいて、AGSAは（有効になっている場合）必要なディスク距離を自動的に設定できます。
DD(D)	DDD (Disc Distance Detection) = グラインドディスク間の距離の検知 DDDはディスク間の距離を読み取ります。これはグラインドサイズとは異なり、グラインドサイズは常にディスク距離よりも大きな値になります。EK Omniaのディスク距離は（校正時）0〜800の範囲です。
ESP	ESP (Espresso Board) = WiFi機能 ESPという名称は、搭載されているメインチップに由来しています。ESPボードはメインモーターの後ろ、プラスチックカバーの下にあり、グラインダーのWi-Fi機能を担っています。
FW	FW (Firmware) = ソフトウェア コンピューターのWindowsのような「基盤となるソフトウェア
HMI	HMI (Human Machine Interface) タッチディスプレイの技術用語
IP	IP (Internet Protocol) IPはIPアドレスの略称です。これはWi-Fiネットワーク内のデバイスのアドレスであり、デバイスにアクセスするために使用されます。
MCU	MCU (Motor Control Unit) MCUはEK Omniaのメインモーターを制御し、その他の電子部品に電力を供給します。マストの背面、グラインダーの背面カバーに取り付けられています。
PDU	PDU (Pre Dose Unit) コーヒー豆を定量で挽き切りたいときに使用するホッパー（現在、開発中）で、ライブラリーモードに限りて使用することを想定しています。
SSID	SSID (Service Set Identifier) Wi-Fiの名前を意味します。
SW	SW (Software) Windows版Wordのように

1 製品概要

EK Omniaは、3つの電子制御基盤（HMI = Human Machine Interface、ESP =Espressive Board、MCU = Moter Control Unit)を装備しており、HMIで全てを管理し、必要に応じてESPとMCU基盤を更新します。

機能：

HMI = タッチディスプレイ上で操作可能なグラインダーの設定等
ESP = WiFi接続に関連し、スタート・ストップボタン操作と連携する
MCU = 主モーターを動かし、ESPやHMIに電源を供給する



2 ログイン

EK Omniaは、3つのユーザー属性に分けて、グラインダーのメニュー項目へのアクセス権限を付与しています。

- ・ユーザー（パスワード不要）＝コーヒー豆を挽くことやレシピ変更をすることができます。
- ・オーナー（パスワード1924）＝システム設定やモーター構成を除いてアクセス可能です。
- ・技術者＝メリタジャパンのエンジニアは、EK Omniaのすべてのメニュー項目にアクセス可能です。

※特に明記されていない限り、本取説に記載されている内容は、Store Ownerとしてログインすることでアクセス可能です。

3. スタンバイと電源オフ

3.1 スタンバイ

エネルギーを節約し、ディスプレイの寿命を延ばすため、EK Omniaは一定時間経過後にスタンバイモードに移行します（4.6.3項参照）。スタンバイ中は、スタート/ストップボタンのLEDが徐々に暗くなります。ディスプレイまたはスタート/ストップボタンをタップすると、スタンバイモードが解除されます。

3.2 電源オフ

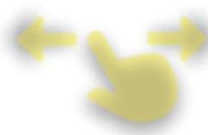
すべての設定は永続的に保存され、グラインダーの電源を切っても保持されます。ただし、日付と時刻は動的な値であるため、常に最新の状態に保つ必要があります。そのため、EK Omniaには電源コンデンサが搭載されており、内部時計を少なくとも10日間は維持します。EK Omniaの電源が10日以上切れている場合は、起動時に日付と時刻を再度設定する必要がある場合があります。

注: 電源コンデンサを十分に充電するには、グラインダーを次の時間オンにする必要があります。
最低8時間。

4. ソフトウェア機能の概要

4.1 ナビゲーションとジェスチャー

EK Omniaはタッチスクリーンのおかげで、他のタッチスクリーンデバイスでおなじみの様々な入力方法を提供します。



横にスワイプ

左または右にスワイプして次へ進みます
画面



長押し

0.5秒以上長押しすると編集モードに切り替わるか、変更を直接保存できます。



縦方向スワイプ

左または右にスワイプして次へ進みます
画面



タップ

アイコンをタップして選択または開きます

挽き目調整ダイヤルをどちらかに回すとグラインドディスク間の距離を変えて挽き目を調整することができます。挽き目調整ダイヤルには赤い印が付いており、現在の挽き目設定位置を示しています。



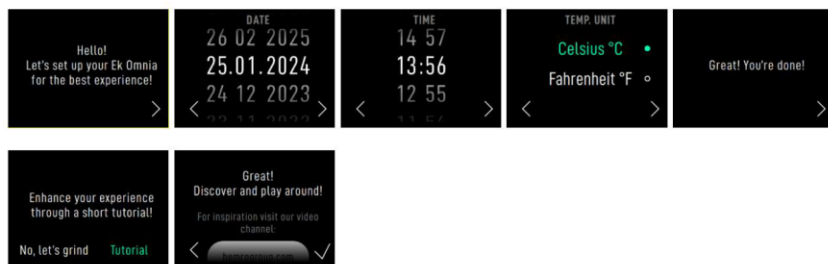
4.2 最初の起動

初回起動時には、日付、時刻、温度単位などの主要な設定が正しく行われていることを確認するためのチュートリアルが表示されます。

これらの設定後、ユーザーはチュートリアルを続行してグラインダーの機能を学ぶことができます。初回起動時にチュートリアルを終了すると、再度表示されることはありません。ただし、設定メニューの「情報」セクションからいつでもアクセスできます（4.6または4.6.5も参照）。

4.2.1 初回起動時のセットアップ

最初のセットアップでは、最も重要な設定項目を順を追って説明します。この手順は、グラインダーのチュートリアルに進めることも、完了後に終了することもできます。QRコードを読み取ると、インスピレーションを得られるMahlkönigのビデオチャンネルにアクセスできます。



4.2.1 グライNDERチュートリアル

グラインダーチュートリアルでは、グラインダーの機能を説明しています。ほとんどの画面の後には、先に説明した機能のプレビューが表示されます。

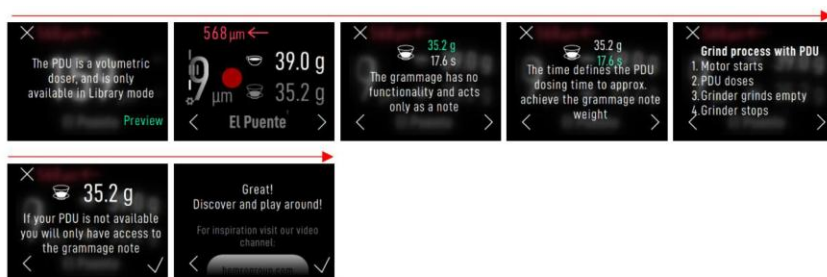


See 4.2.2

グラインダーチュートリアルは、設定メニュー（Grinder Settings）の「情報(Information)」セクションからいつでもアクセスできます（4.6 or 4.6.5参照）。

4.2.2 PDUチュートリアル

PDU (Pre Dose Unit)は、コーヒー豆を定量で挽き切りたいときに使用するホッパー（現在、開発中）で、ライブラリーモードでを使用することを想定しています（4.5参照）。PDUチュートリアルでは、PDUの機能について説明しています。ほとんどの画面では、先に説明した機能のプレビューが表示されます。



PDUのチュートリアルは、グラインダー設定の情報セクションにあります（4.6または4.6.5も参照してください）。

4.3 メインページ / クラシックモード

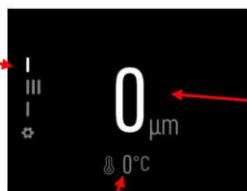
次の画像は、起動後に表示されるメインページを示しています。設定によっては（参照）

4.6.3）、これはクラシックモード、タイムモード、またはライブラリモードのいずれかになります。

以下の画像は、起動後に表示されるメインページを示しています。設定によっては、クラシックモード、タイムモード、ライブラリモードが表示されます（4.6.3参照）。

グラインダーの回転数（デフォルトは1500rpm）を変更したり、ディスク間の距離を固定設定したりすることができます。固定設定にすると、以前に別のモードが選択されていた場合でも、グラインダーは設定された距離に戻ります。これらの設定は、ディスク間の距離の値を長押しすることでアクセスできます。

クラシックモード表示
クラシックモードでは、一番上の行のバーが白く点灯します。



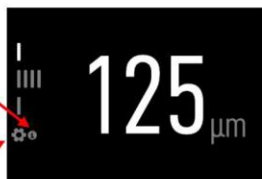
温度情報

現在設定されているディスク距離。
値をタップしてマイクロステップにアクセスします



「+」で1 μmステップを調整し、
「-」
マイクロステップメニューは、1秒間操作がないと自動的に消えます。

保留中の通知
および警告を示すインジケータ（4.6.5を参照）

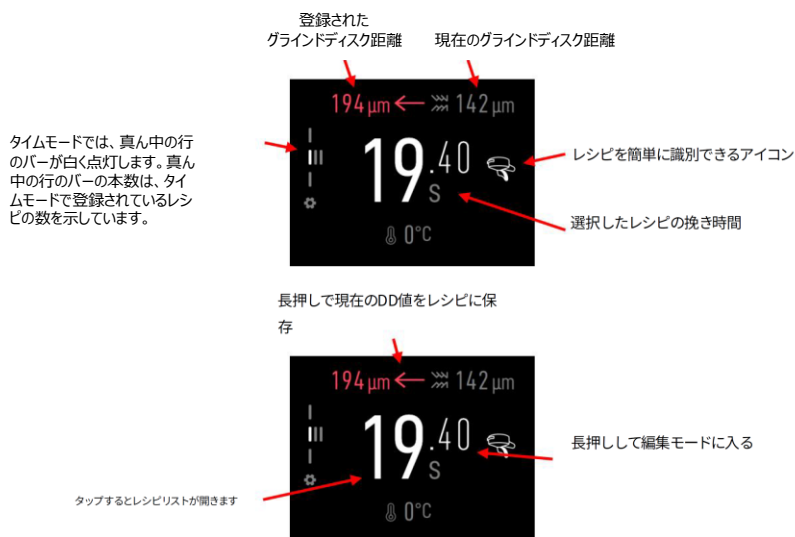


設定メニュー
(4.6項参照)

4.4 メインページ / タイムモード

タイムモードは、EK Omniaにエスプレッソグラインダーの機能を追加します。同様に、最大6つのレシピを保存でき、それぞれに個別の挽き時間、ディスク距離、アイコンを設定できます。有効にすると、グラインダーはレシピのディスク距離に自動的に調整されます（4.6.3 > AGSAを有効にするを参照）。グラインディングはスタート/ストップボタンで開始され、レシピの時間が経過すると自動的に停止します。タイムモードのデフォルトの挽き速度は800rpmで、編集モードでレシピごとに個別に設定できます。

※タイムモードを使用する際は、エスプレッソモジュール（付属品）の使用をお勧めします。

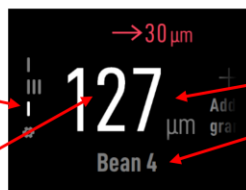


4.5 メインページ / ライブラリーモード

ライブラリーモードでは、様々なレシピを簡単に管理することができます。コーヒー豆の名前、挽き目（ μm ）、および挽き量を最大20個までレシピとして保存し、呼び出すことができます。レシピを有効にすると、グラインダーは自動的にレシピの挽き目に調整してくれます（4.6.3 > AGSAを有効にするを参照）。PDUが利用可能な場合は、保存した挽き量も自動的に供給されます。ライブラリーモードの初期設定のモーター回転速度は1500rpmですが、編集モードからレシピごとにモーター回転速度を設定できます。以下の画像は、起動後に表示されるメインページを示しています。設定によっては、クラシックモード、タイムモード、ライブラリーモードが表示されます（4.6.3参照）。

ライブラリーモードでは、一番下の行のバーが白く点灯します。

挽き目をあらわす μm の数字の上を長押しすると編集画面に変わります。



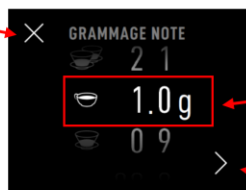
現在の挽き目が表示されています。数値に軽く触れると+/-表示が出て、1 μm 単位で挽き目を変更できます。

登録されているレシピ名が表示されます。レシピ名に軽く触れると、登録されているレシピのリストが表示されます。

“X”表示に触れると挽き量のメモ入力画面から出ます。



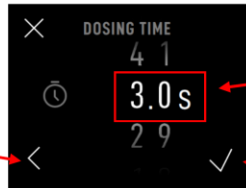
“+”表示に触れると挽き量をグラム単位で追加することができます。



アイコンを選択してそのレシピの挽き量の数字を入力することができます。この入力数値はメモとしての機能のみになります。

“>”マークに触れると次のステップに移動し、長押しすると数値を確定します。

“<”表示に触れると前の画面に戻ります。



PDU（Pre Dose Unit）を使う時だけ挽き時間を設定することができます（4.2.2参照）※PDUは現在開発中です。

“✓”に触れると確定となります。



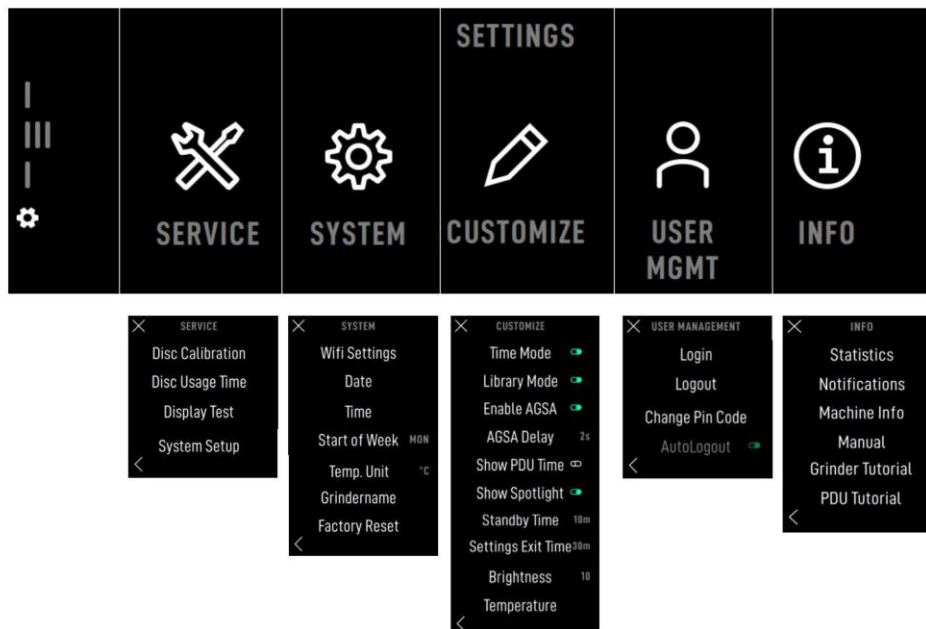
メモ入力した数字に触れると自動でホッパーのコーヒー豆をグラインダー機構に送り込みます（PDU（Pre Dose Unit）使用時のみ）。

6つまで引き量のグラム数値を登録することができます。

4.6 設定概要

注：メニュー項目へのアクセス権限は、ユーザーレベル（ユーザー／オーナー／技術者）によって異なります。

※タイムモードを使用する際は、エスプレッソモジュール（付属品）の使用をお勧めします。



4.6.1 サービスメニュー

× SERVICE Disc Calibration	DISC CALIBRATION Zero the scale & confirm calibration Cancel Calibrate	最も細挽きの挽き目を校正して、0点調整をします。
DISC CALIBRATION Disc Usage Time Disc Usage Time	× DISC USAGE TIME 0 h 120 h Reset	DISC USAGE TIME Do you want to reset the disc usage time? Cancel Reset グラインドディスクの使用時間を記録し、時間あたりの挽き量をもとにグラインドディスクの交換時期を把握することができます。グラインドディスク交換都度、使用時間をリセットしてください。
DISC USAGE TIME Display Test Motor Test	DISPLAY TEST RGB color bars Reset	ディスプレイにRGBカラーを表示して、ディスプレイが正常に機能していることを確認します。
DISC USAGE TIME Motor Test System Setup		グラインダーの機能設定や確認については、次ページをご覧ください。

×	SYSTEM SETUP
DDD	
DDD Calibration	Calibrate
Current Value	1 μ m
AGSA	
AGSA	Start Test
Interlocks	
Hopper	N/A
Grinding Chamber	N/A
MCU	
Motor Test	Start
Motor Running	N/A
Motor RPM	N/A
Motor Current	N/A
Motor Temperature	N/A
DC Bus Voltage	N/A
Board Temperature	N/A
MCU Faults	
Board Overtemp.	N/A
DC Overcurrent	N/A
AC Overvoltage	N/A
AC Undervoltage	N/A
Hall Sensor	N/A
Current Sensor	N/A
Rotor Locked	N/A
PDU	
PDU Present	Not Present
Test PDU	Start
PDU Running	N/A
Illumination	
Start/Stop LED	On
Test Start/Stop LED	Turn Off
Nozzle Light	Off
Test Nozzle Light	Turn On
NTC	
NTC Temperature	0 °C
Temp. Plausible	N/A
<	

ダイヤルを0に設定し、「キャリブレーション」ボタンを押して、ディスク距離を校正してください。

キャリブレーション後、数値は0 μ m表示になります。

「Start Test（テスト開始）」を押すとAGSA（Automatic Grind Size Adjustment）が機能テストを実行し、自動で挽き目調整ダイヤルが動いて挽き目を調整します。

インターロックの状態が表示されます。正常な動作のためには、両方とも閉じている必要があります。

メインモーターはここで起動・停止できます。関連するすべてのモーターパラメータに従ってください。

最も重要なのは、「Running」と「Motor RPM」の状態であり、これらは「True」と「1500」である必要があります。

このセクションでは、モーター制御ユニットに発生した可能性のある不具合が表示されます。

PreDoseUnitが装着されている場合は、「Present」と表示されます。「開始」ボタンを押すと、PDUブラシが短時間回転します。

有効化されると「PDU Running」が「True」になります。

スタート/ストップボタンのLEDの状態

LEDをオンまたはオフにする

ノズル上のLEDの状態

LEDをオンまたはオフにする

負の温度係数（温度センサー）の状態

グラインダーは、値が妥当かどうかを自己チェックします。

4.6.2 システムメニュー

SYSTEM Wifi Settings		WiFiをオンまたはオフにする。 WiFiのIDを表示します。 パスワードを入力します。 グラインダーのIPアドレスを表示します。
Wifi Settings Date		日付（日・月・年）を表示・設定します。
Date Time		日付（日・月・年）を表示・設定します。
Start of Week MON		統計データを収集するため、週の初めを設定します。
Temp. Unit °C		温度表示を摂氏（°C）または華氏（°F）に設定します。
Grindername Factory Reset		WiFi接続確認用に、グラインダーに名称を付けます。
Factory Reset		上書きされている情報を消去して、工場出荷時の設定に戻します。これまでのデータはなくなります。

4.6.3 カスタマイズメニュー

		タイムモード・ライブラリーモードをディスプレイ表示しなくて良い場合、無効にすると、ディスプレイ表示しなくなります。
		レシピを変更する時、「AGSA (Automatic Grind Size Adjustment) 遅延」時間だけ待機した後、自動で挽き目調整を開始します。
		PDUが存在しない場合、ここで有効にしない限り、ライブラリーモードではPDU投与時間は表示されません。
		スポットライト機能を有効にすると、挽きはじめてから挽き終わり後2秒の間、スパウトのLEDを点灯します。
		次の操作を開始するまでにしばらく時間が空く場合、時間を入力しておく、その時間が経過すると、スタンバイモードに移行させることができます。
		一定時間操作がないと、設定メニューが終了します。グラインダーは最後に使用したグラインディングモード画面に切り替わります。
		上書きされている情報を消去して、工場出荷時の設定に戻します。これまでのデータはなくなります。

4.6.4 ユーザーメニュー

			Store Owner(オーナー) またはTechnician(技術者)を選択して、ログインします。 ※技術者としてログインできるのは、メリタジャパンの技術者のみです。
		オーナーまたは技術者としてログアウトする	
			PINコードを変更してください。 注意 PINコードは必ず覚えておいてください！ 忘れてしまった場合は復元できません！
	オーナーログインのみ利用可能です。 AutoLogoutは、3分間操作がないと自動的にログアウトします。技術者向けには常に有効になっています。		
	一定時間操作がないと、グラインダーはスタンバイモードに移行します。		

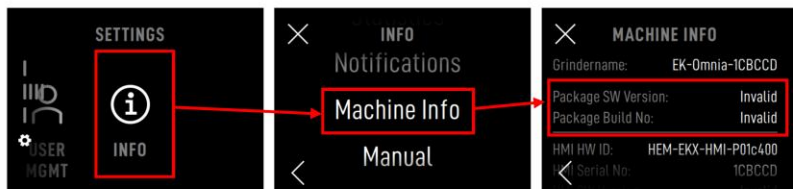
4.6.5 ⓘ 情報メニュー

			統計情報には、選択した期間におけるグラインダーの使用状況が表示されます。 統計情報は、ウェブインターフェースを介して監視および抽出することもできます（5.5項参照）。
			通知センターには、有効な通知と確認済みの通知および警告が表示されます。通知をクリックすると詳細が表示されます。 通知または警告が保留中の場合は、メイン画面にインジケーターが表示されます（4.3を参照）。
		メインソフトウェアパッケージ ディスプレイユニットのバージョン（ヒューマンマシンインタフェース） ESPボードはモーターの背面、プラスチックカバーの裏側にあります。 MCUはグラインダーのマストに設置されています。	機械部品の現在の状態とハードウェアの状態を表示します。 企業版およびソフトウェア版。
			スマートフォンでQRコードをスキャンすると、グラインダーの取扱説明書が表示されます。 ※QRコードから入手可能な取説は製造者のオリジナル版になります。本取説は、メリタジャパンホームページのEK Omniaの製品ページからダウンロードしてください。
	4.2.1参照		
	4.2.2参照		

5 ソフトウェア更新の準備

5.1 ソフトウェアバージョンの確認

ソフトウェアバージョンは、「設定(SETTINGS)」メニューの「情報(INFO)」から確認することができます。



5.2 ソフトウェア更新に必要なこと

EK Omniaのソフトウェアを更新するには、WiFi接続環境が必要です。PCやスマートフォンで対応可能です。新しいソフトウェアは、PCやスマートフォンにダウンロードするか既に保存されている状態にしてください。

このファイルは".swu"という拡張子をもつソフトウェア更新ファイルです（以下はファイル名の表示例です）。

Hemro-EK-Omnia-Firmware-V01.00-10.swu

ソフトウェアSAP番号：706063 HMI（メイン） / 706064 ESP / 706065 MCU

5.3 グライnderの準備

ログインします

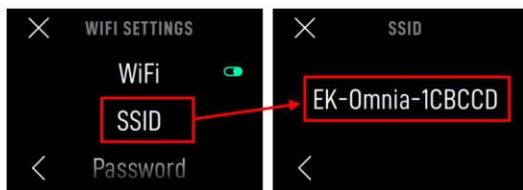


WiFi接続を有効にします

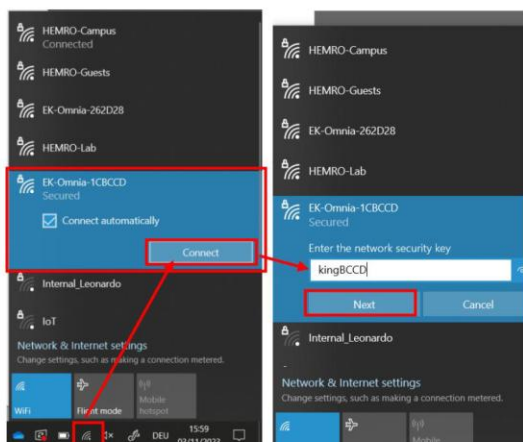


5.4 EK OmniaをWiFiに接続する

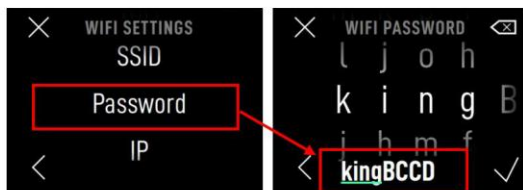
Wi-Fiが有効になると、「SSID」の下にその名前が表示されます。



EK OmniaをWiFiに接続する時、セキュリティキーの入力を求められたら、「King」と入力してからSSIDの下 4 桁を入力します。



EK Omnia Wi-Fiのパスワードを確認または変更してください。

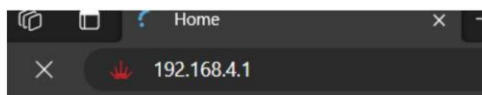


5.5 EK OmniaのWebインターフェースにアクセスする

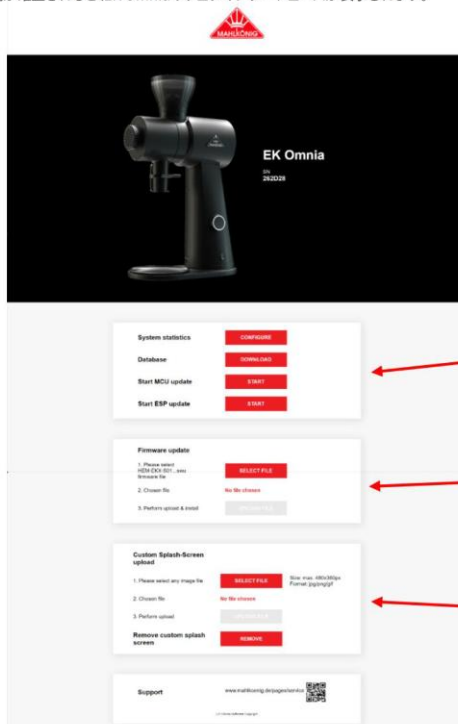
EK Omniaには、複数の機能を提供するウェブインターフェースがあり、その機能の1つがアップデートプロセスです。EK OmniaをWiFiに接続したら、ブラウザにIPアドレスを入力することでこのウェブインターフェースにアクセスできます。グラインダーのIPアドレスは「IP」の項目に記載されています。



ブラウザ経由でウェブインターフェースにアクセスするには、アドレスバーにIPアドレスを入力し、Enterキーを押してください。



Wi-Fi接続が確立されると、EK Omniaのウェブインターフェースが表示されます。



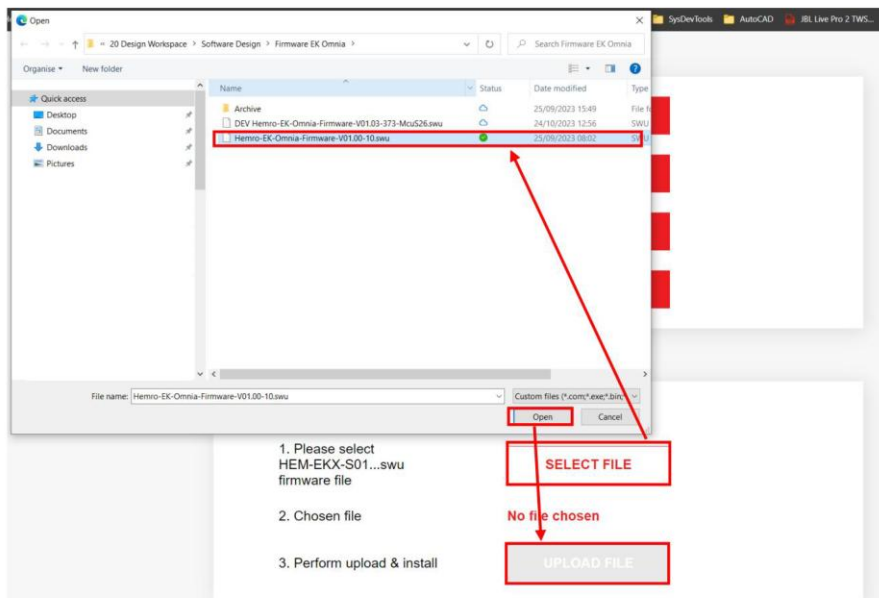
統計情報の表示とダウンロード、MCUまたはESPの手動アップデートのトリガー。

ソフトウェア（ここでは「ファームウェア」と呼ぶ）をアップデートする

グラインダーの起動時に使用するカスタムフラッシュスクリーンをアップロードしてください。ファイルサイズは最大480X360ピクセルです。

6. ソフトウェアアップデートを実行する

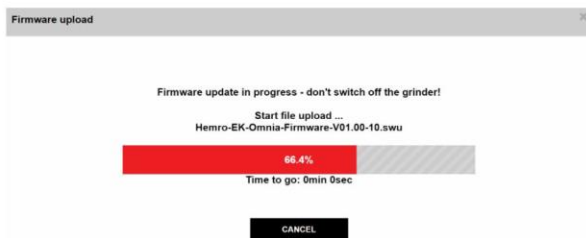
グラインダーにソフトウェアアップデートファイルをアップロードするには、「ファームウェアアップデート」セクションに移動して、.swuファイルをアップロードしてください。



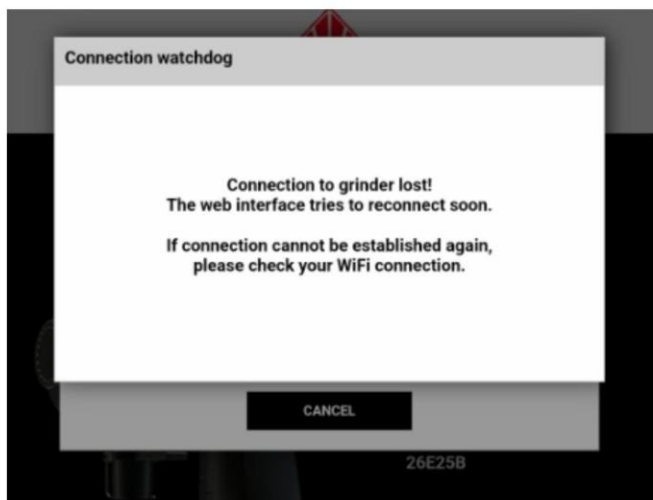
アップロード処理には最大25分かかる場合があります。アップロード処理の進捗状況はウェブインターフェースで確認できます。

注： JavaScriptの不具合により、プログレスバーが1~2秒以内に100%になる場合があります。この場合、操作は不要です。アップロードはバックグラウンドで継続されます。約25分お待ちください。その後、アップデートが完了します。

アップロード中に問題が発生した場合は、ブラウザのプラグインやファイアウォールを無効にするか、別のブラウザで試してみると解決する場合があります。



アップロード処理後、グラインダーは新しいソフトウェアで再起動します。この再起動によりWiFi接続が中断され、ウェブインターフェースに以下のメッセージが表示される可能性が高くなります。



再起動中は、内部パーツの個々のアップデートが実行され、すべての手順が画面に表示されます。

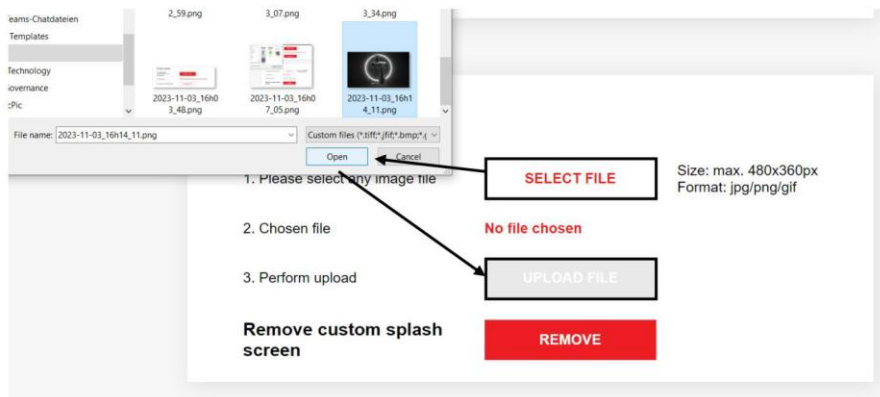


すべての更新と検証が正常に完了すると、次の最終画面が表示されます。



7. カスタムスプラッシュスクリーンをアップロード

カスタムスプラッシュスクリーンを更新するには、ウェブインターフェースの「スプラッシュスクリーン」セクションを使用する必要があります。
画像はすべてjpg/png/gif形式で、最大サイズは480x360ピクセル（幅×高さ）である必要があります。



アップロード後、以下の通知が表示されます。



次回グラインダーを起動すると、カスタムスプラッシュ画面が表示されます。

8. エラーと通知

8.1 最も一般的な通知

画面	説明：	提案された措置
	は充電式コンデンサを使用して保持されます。以下の場合は時刻が失われます。a) グラインダーの電源が10日以上オフになっている場合、または b) グラインダーが新品で、数時間も電源を入れていない場合	「Try Recover（リカバリーを試す）」を押して、日付と時刻を設定し、グラインダーの電源を8時間オンにします。
	豆ホッパーが取り外されています。そのため、グラインダーが作動しません。	豆ホッパーを取り付けます。
	粉碎室が開いています。これにより、粉碎機が起動しません。	グラインダーチャンバーを閉じます。
	投与前単位（PDU）が検出されました。	4.2.2を参照
	a) PDUを取り外した後、標準ホッパー（PDUなし）を取り付けた。 b) PDUが接続されていても、グラインダーはそれを認識しません。	a) 何もする必要はありません b) グラインダーの電源をオフにしてから再度オンにしてください。それでも問題が解決しない場合は、サービスセンターに連絡してください。

8.2 エラー一覧

IDテキスト	クラス	説明
1 グライNDERチャンバーが開きました	エラー	グラインダーチャンバーが開いています。モーターが作動しません。豆を挽くことができません。
2 ホッパー取り外し済み	エラー	豆ホッパーが取り外されています。モーターが作動しません。豆を挽くことができません。
3 ESP_INTERFACE_FAILED	エラー	HMIとWiFiボード間の通信が中断されました。グラインド動作はできません。ウェブサーバーが利用できません。
4 MCU_INTERFACE_FAILED	エラー	HMIボードとモーター制御ユニット間の通信が途絶しました。豆を挽くことができません。
5 DDD1_FAILED	エラー :DDD 1	(粗調整)センサーが利用できないか、センサーデータが無効です。DDD表示が無効で、AGSAが非アクティブ化されています。
6 AGSA_FAILED_BLOCKAGE	警告 :AGSA	モーター駆動装置は、駆動システム内部の詰まりにより停止しました。 動作を繰り返してみてください。
7 CHANGE_DISCS_INFO	情報	グラインドディスクの寿命を超えました。グラインドディスクを交換し、カウンターをリセットしてください。
8 START_GRIND_FAILED	エラー	グラインドモーターを起動するように指示したにも関わらず、起動しません。モーターが何等かの異物に引っかかっているか、通信に問題が発生している可能性があります。
9 STOP_GRIND_FAILED	エラー	グラインドモーターは停止命令が手ているにもかかわらず停止しません。モーター制御ユニットとの通信に何等かの障害が発生している可能性があります。
10 システム時間損失	警告	
11 DDD2_FAILED	エラー DDD 2	(ファイン) センサーが利用できないか、センサーデータが無効です。DDD表示が無効で、AGSAが無効になっています。
12 AGSA_FAILED_TIMEOUT	警告 :AGSA	モータードライブがタイムアウトにより停止しました。
13 SW_UPDATE_UPLOAD_FAILED	警告 :ソフトウェア	アップデートパッケージのアップロードに失敗しました。ソフトウェアアップデートを再度実行してください。
14 SW_UPDATE_PACKAGE_FAILED	エラー	ソフトウェアアップデートパッケージの整合性チェックに失敗しました。ソフトウェアアップデートを再度実行するか、パッケージソースを検証してください。
15 SW_UPDATE_PACKAGE_NO_UPGRADE	警告 :ソフトウェア	アップデートパッケージが拒否されました。パッケージにはアップグレードバージョンが含まれていません。

16 SW_UPDATE_UNPACK_ROOTFS_FAILED	エラー	ソフトウェアのアップデートに失敗しました。 イメージ1/2の解凍に失敗しました。ソフトウェアアップデートを再度実行してください。
17 SW_UPDATE_UNPACK_APPLICATION_FAILED	エラー	ソフトウェアのアップデートに失敗しました。 2枚中2枚目のイメージの解凍に失敗しました。ソフトウェアアップデートを再度実行してください。
18 STARTUP_ROOTFS_VERSION_FAILED	エラー	コアシステムのバージョン情報の確認に失敗しました。復旧するには、ソフトウェアアップデートを再度実行してください。
19 LOAD_SETTINGS_FAILED	エラー	設定データの読み込みに失敗しました。グラインダーの再設定を試してください。
20 SW_UPDATE_MCU_UPDATE_FAILED	エラー	MCUのソフトウェアアップデートに失敗しました。システムは以前の状態にロールバックされます。ソフトウェアアップデートを再度お試しください。
21 SW_UPDATE_ESP_UPDATE_FAILED	エラー	WiFiのソフトウェアアップデート ボードに障害が発生しました。システムは 以前の状態にロールバックされます。 ソフトウェアのアップデートを再度実行してみてください。
22 SW_UPDATE_UPLOAD_ABORTED	警告	ソフトウェアアップデートのパッケージがユーザーによって中止されました。ソフトウェアアップデートを再度実行してください。
23 SW_UPDATE_ROLLED_BACK	情報	ソフトウェアアップデートの失敗により、システムは以前の状態にロールバックされました。ソフトウェアアップデートを再度お試しください。
24 SW_UPDATE_ROLLBACK_APP_FAILED	エラー	ソフトウェアアップデートの失敗後、イメージ #2/2を以前の状態にロールバックでき ませんでした。システムに矛盾が生じている可能性 があります。ソフトウェアアップデートを再度実行 してください。
25 SW_UPDATE_ROLLBACK_ROOTFS_FAILED	エラー	ソフトウェアアップデートの失敗後、イメージ #1/2を以前の状態にロールバックでき ませんでした。システムに矛盾が生じている可能性 があります。ソフトウェアアップデートを再度実行 してください。
26 SW_UPDATE_COMPLETED	情報	ソフトウェアのアップデートが正常に完了しました。
27 SW_UPDATE_ROLLBACK_FAILED	エラー	ソフトウェアアップデートの失敗後、以前のシステム状態へのロールバックに失敗しました。ソフトウェアアップデートを再度お試しください。
28 STARTUP_ESP_CHECK_VERSION_TIMEOUT	エラー	WiFiボードのバージョン情報の読み取りがタイムアウトしました。
29 STARTUP_MCU_CHECK_VERSION_TIMEOUT	エラー	MCUバージョン情報の読み取りがタイムアウトしました。
30 SW_UPDATE_ESP_UPDATE_TIMEOUT	エラー	WiFiボードのソフトウェアアップデートがタイムアウトしました。システムは以前の状態にロールバックされます。ソフトウェアアップデートを再度お試しください。
31 SW_UPDATE_MCU_UPDATE_TIMEOUT	エラー	MCUのソフトウェアアップデートがタイムアウトしました。システムは以前の状態にロールバックされます。 ソフトウェアのアップデートを再度実行してみてください。

32	SW_UPDATE_ESP_VALIDATE_VERSION_ タイムアウト	エラー	ソフトウェアアップデート後、WiFiボ ードバージョンの検証がタイムア ウトしました。システムは以前の状態にロー ルバックされます。ソフトウェアアップ デートを再度お試しください。
33	SW_UPDATE_MCU_VALIDATE_VERSION_ タイムアウト	エラー	ソフトウェアアップデート後、MCUパー ジョンの検証がタイムアウトしました。 システムは以前の状態にロールバックされま す。ソフトウェアアップデートを再度実行して ください。
34	AGSA_FAILED_NO_DDD	エラー AGSA	モータードライブが 少なくとも1つのDDDセンサーが故障したた め、停止しました。
35	ロールバック_スタートアップ_失敗	エラー	ソフトウェアアップデートの失敗後、以前のシス テム状態へのロールバックに失敗しました。ソフトウ ェアアップデートを再度お試しください。
36	SW_UPDATE_STARTUP_FAILED	情報	以前エラーにより、システムの起動に失敗し ました。グラインダーを再起動してみてください。
37	SW_UPDATE_MCU_VALIDATE_VERSION_FAILED エラー		ソフトウェアアップデート後、MCUパー ジョンの検証に失敗しました。 システムは以前の状態にロールバックされます。 ソフトウェアアップデートを再度実行してく ださい。
38	SW_UPDATE_ESP_VALIDATE_VERSION_FAILED エラー		ソフトウェアアップデート後、WiFiボ ードのバージョン検証に失敗しました。シス テムは以前の状態にロールバックされます。 ソフトウェアアップデートを再度お試しください。
39	DB_UPDATE_FAILED	エラー	内部データベースエラーが発生しました。 データベースの更新に失敗しました。
40	設定の保存に失敗しました	エラー	設定ファイルの保存に失敗しました。 変更内容は失われました。
41	DB_QUERY_STATISTICS_RESULT	警告	内部データベースエラーが発生しました。統 計データベースのメモリ結果の取得に失敗 しました。
42	DB_CHANGE_RECIPE	警告	内部データベースエラーが発生しました。レ シピの変更を挿入できませんでした。
43	DB_INSERT_RECIPE	警告	内部データベースエラーが発生しました。新 しいレシピの挿入に失敗しました。
44	DB_ADD_GRIND	警告	内部データベースエラーが発生しました。豆 挽きの結果をデータベースに追加できませ んでした。
45	DB_ADD_DELTA_TO_COUNTER	警告	内部データベースエラーが発生しました。カ ウンターのカウントに失敗しました。
46	DB_RESET_COUNTER	警告	内部データベースエラーが発生しました。カ ウンターのリセットに失敗しました。
47	DB_QUERY_COUNTER	警告	内部データベースエラーが発生しました。カ ウンターのデータベース要求が失敗しました。
48	DB_CREATE_NEW_SCHEME	情報	新しいデータベーススキームが正常に有効化 されました。
49	DB_CREATE_NEW_SCHEME_FAILED	エラー	内部データベースエラーが発生しました。 新しいデータベースの構築に失敗しまし た

50	メインステートファイルが破損しています	エラー	内部状態ファイルが破損しています。 グラインダーの動作が不安定なのかもしれません。
51	SW_UPDATE_STATE_FILE_CORRUPTED	エラー	内部ソフトウェア更新状態ファイルが破損しました。システム状態を正常に戻しました。
52	メインステートファイル読み取り失敗	エラー	内部状態ファイルを読み取れなかったため、リセットします。 グラインダーの動作が不安定なのかもしれません。
53	MAIN_STATE_FILE_WRITE_FAILED	エラー	内部状態ファイルへの書き込みができなかったため、リセットされます。 グラインダーの動作が不安定なのかもしれません。
54	SW_UPDATE_STATE_FILE_WRITE	エラー	内部ソフトウェア更新状態ファイルへの書き込みに失敗しました。システム状態を通常状態にリセットしました。
55	PDU_不在後に設置	情報	PDUは、設置されていない状態から自動的に設置済みとして検出されました。
56	PDU_存在後にインストール解除	情報	PDUは設置されているにもかかわらず、自動的に未設置として検出されました。